

5月(皐月)に入りました。

今年もGWが終わってしまいました。この5連休は有意義に過ごせましたか？ この両日は昼前からの登校でしたが、皆さんの様子を見てみると、中には「今、起きました!!」と言わんばかりに眠たそうな人もいましたね。午前中は家でオンライン学習ですが、しっかりつながったでしょうか？ また、宿題を忘れていたり、その他の忘れ物をしていたりはありませんか？ 生活のリズムが大切ですので、崩さないように頑張りましょう。

ところで、今年の5月5日は「立夏」でもありました。毎年、5月の上旬となる「立夏」は24節気の第7節目になります。夏の気配が感じられるようになった時期という意味です。また「立夏」は春分と夏至のちょうど中間にあたります。今後、1日ごとに新緑が映える季節となり、季節は夏に向かっていきます。季節の変わり目ということもあるので、体調管理をしっかりしていきましょう。このコロナ禍の中では特に気をつけていかなければなりません。

また、5月5日は「端午の節句」であり「こどもの日」でもあります。この日は、菖蒲湯に入ったり、粽や柏餅を食べたり、鎧兜の人形や鯉のぼりを飾ったりと様々な風習がありますが、それらが定着したのは江戸時代ごろだそうです。もともと「端午の節句」は奈良時代のころに行われた、季節の変わり目に病気や災厄をさけるための行事が始まりだといわれています。「端午」というのは、本来「月の端(はじめ)の午(うま)の日」という意味で、5月に限ったものではありませんでした。しかし、午(ご)と五(ご)の音が同じなので、毎月5日を指していたものが、やがて5月5日のことを指すようになった(諸説あるので、くわしくは調べてみよう)とも伝えられます。

「こどもの日」として祝日になっていますが、“国民の祝日に関する法律”によると、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する。」となっています。



《廊下に飾られた人形や鯉のぼり》

だから近くに「母の日」も設定されていると思います。明日からの土曜・日曜は、皆さん自身をお祝いすると共に、お母さんに感謝する日。そして、今年はコロナ禍の最前線で踏ん張ってくれている医療従事者の皆さんへの感謝も込めて、過ごしていきたいものです。



全校集会に代えて

感謝といえば、こんな話題があります。

先日、ゴルフの松山英樹選手が日本男子

初のメジャー（マスタース・トーナメント）大会で優勝し、歴史に残

る快挙となりました。松山選手がマスタースへ初挑戦したのは今から 10 年前。東日本大震災が発生した直後だったそうです。当時、松山選手は大学生。キャンパスのある仙台市が被災し、出場辞退も考えたようですが、多くの励ましに背中を押され、参戦を決意したそうです。結果はアマチュア選手として最高の成績を収め、ゴルフ人生の転機をつかんだとのこと。今回、帰国後の会見で松山選手は「10 年前、大変な時に送り出してくれたという感謝の気持ちは忘れていません。」と語りました。また、「10 年の経過が早いのか遅いのかは分かりませんが、東北の皆さんにいい報告ができて良かった」と、優勝を笑顔で振り返っていました。「感謝の心」は人を大きく成長させます。試練に直面した時、自らを支える力ともなります。反対に、その心を失ってしまえば、いつか行き詰ってしまうことになります。恩を忘れない生き方が人間を強くするのです。「感謝の心」は大切です。

東側フェンス塗替え作業・体育館の空調機設置工事



《東側外柵の塗装工事を実施》

今年も管理作業員さんが中心となって学校の外柵の塗装をきれいにしてくださいました。昨年の北側に続いて今年は東側外柵。古くなった塗装をはがしてさび止めを塗り、その上から塗料を塗り重ねるというけっこう手間のかかる作業です。

また、体育館に空調機（エアコン）を設置する工事がいよいよ始まりました。コロナ禍等で遅れていましたが、今後は急ピッチで作業を進めていただき、6 月末には完了する予定です。今夏は涼しく、今冬は暖かい体育館になりそうです。楽しみです。

更衣調整期間

今週から更衣調整期間となりました。すでに夏の標準服で登校する生徒も何人かいます。また、1 年生は夏の標準服の引き渡しが行われました。体調に合わせて賢く着まわしてください。大切なことはだらしないことではないことです。ボタンやシャツインなど、しっかりした身だしなみをお願いします。